

各位

記者発表資料

2015年7月10日(金)

第11回ICMアジア太平洋地域会議・

助産学術集会 運営事務局

TEL: 03-5216-5318

<ご取材のお願い>

第 11 回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会

～20年ぶり3回目の国内開催 パシフィコ横浜で～

7月20～22日、33カ国2,500人の助産師が参加

2015年7月20日(月・祝)～22日(水)、公益社団法人日本看護協会(本部:東京 会長:坂本 すが)、公益社団法人日本助産師会(本部:東京 会長:岡本 喜代子)、一般社団法人日本助産学会(本部:東京 理事長:高田 昌代)は、アジア太平洋地域の助産師が集う国際会議である『第11回ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会』を、パシフィコ横浜で開催いたします。

今回の『ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会』は、20年ぶり3回目の日本開催です。横浜では初の開催となり、33カ国2,500人の助産師が参加予定です。本会議では安全で安心な出産体制、助産師の知識と技術の向上を目的とした技術交流や情報支援を行います。

つきましては、当日のご取材をお願い申し上げます。学術集会概要と主なプログラムを下記にご紹介いたします。

1. 第11回ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会 概要

【日 時】 7月20日(月・祝) 13:00～16:30

7月21日(火) 9:00～17:35

7月22日(水) 8:40～16:00

【会 場】 パシフィコ横浜 会議センター(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

【テーマ】 すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

【主 催】 日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会

会長 坂本すが(日本看護協会会長)

副会長 岡本喜代子(日本助産師会会長)

副会長 高田昌代(日本助産学会理事長)

実行委員長 福井トシ子(日本看護協会常任理事)

2. 主なプログラム

7月 20日 (月・祝)	13:00- 15:00	○市民公開講座「子育てと家族を支える原点を見つめる」【無料】 大住カ 氏（公益社団法人難病のこどもとその家族へ夢を代表理事）
	15:30- 16:30	○横浜市次世代育成事業特別講演会「これからの日本で子どもを産む ということ」＜中高生対象＞【無料】 河合蘭 氏（出産ジャーナリスト）
7月 21日 (火)	9:00- 10:35	○オープニングセレモニー・アトラクション（太鼓パフォーマンス）、 開会式
	10:45- 11:25	○会長講演「すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを」 坂本すが（日本看護協会会長）
	11:30- 13:30	○Regional Meeting（地域会議）
	16:15- 17:15	○教育講演「原著に学ぶクリステレル胎児圧出法」 池ノ上克 氏（産科医療補償制度再発防止委員会）
7月 22日 (水)	10:20- 11:50	○シンポジウム「ICM Twinning Projects 助産ケアー2 国間相互支援 プログラム」
	13:10- 14:40	○シンポジウム「災害に備えて母子支援をしよう」
	13:50- 15:20	○ワークショップ6「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の 活用～取組事例から学ぼう！」

より詳細なプログラムは、学術大会 Web サイトをご覧ください
(<http://www.icmaprc2015.org/program.html>)。

3. ご取材について

ご取材いただける方は、7月16日（木）までに、別紙の申込用紙のFAX またはEメール
でお申し込みください。

《本件に関するお問い合わせ先》

第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 運営事務局（株式会社コングレ内）

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル

Tel : 03-5216-5318 Fax : 03-5216-5552

E-mail : icm2015aprc@congre.co.jp

参 考 資 料

■ ICM（国際助産師連盟）（会員協会：2015年6月現在106か国119団体）

1919年ベルギーで国際助産師連盟の前身が設立された。1928年に名称が国際助産師連合（International Midwives Union）と決定され、1954年国際助産師連盟（International Confederation of Midwives）に改称。世界中の母親、乳児、家族へのケアを向上させることがその大きな目的。このために助産師の教育を高め、技術と科学的な知識の普及をはかり、各会員協会から自国政府への働きかけを支援し、専門職として助産師の役割の発展を推進している。

アジア太平洋地域会議の日本国内での開催は、1990年に第2回を神戸で、1995年に第4回を埼玉で開催しています。今回、第11回（横浜）の開催は3回目となります。

■ 公益社団法人 日本看護協会（会員数：2015年6月現在約69万人）

1947年設立。看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の資格を持つ個人が自主的に加入し運営する、日本最大の看護職能団体。47都道府県看護協会（法人会員）と連携して活動する全国組織。

■ 公益社団法人 日本助産師会（会員数：2015年6月現在9,180名）

助産師独自の職能団体として、1927（昭和2）年に設立された日本産婆会を前身として、1955（昭和30）年に社団法人化し、活動を展開。激変する我が国の出産環境の中で、出産の安全性の確保を最優先課題に、子育て支援活動等に積極的に取り組んでいる。

■ 一般社団法人 日本助産学会（会員数：2015年6月現在2,164人）

助産学の構築のために1987年3月に設立。本学会の目的は、実践科学である助産学に関する知識・技術の学術的研究の発表や交見を通して、助産学の学術的基盤を体系化し発展させること、そしてそのことによって母親と乳幼児その家族や女性のケアの水準を向上させ、我が国の母子保健の発展に寄与し、広く学問的近接領域や国内、さらには国際的な連帯によって人類の福祉に貢献することにある。

第 11 回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 運営事務局
株式会社コングレ内 行

ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 取材申込書

(FAX: 03-5216-5552 / E-mail : icm2015aprc@congre.co.jp)

ご希望の取材日をチェックしてください。(複数選択可)

第 11 回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会

会場：パシフィコ横浜 会議センター

- 7月20日(月・祝) 13:00～16:30
- 7月21日(火) 9:00～17:35
- 7月22日(水) 8:40～16:00

貴媒体名 _____

会社名・部署名 _____

お名前 _____

ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

E メール _____

※7月16日(木)までにお申し込みください。

※運営事務局から受付の連絡は行いませんので、直接会場へお越しく下さい。

※会場ではプレス受付を設けておりますので、受付を済ませてご入場ください。